



H. Yamanaka

サマースプリントシリーズ

THE HAKODATE SPRINT STAKES

第32回 函館スプリントステークス (GIII)

	1着	2着	3着	4着	5着
本賞	41,000,000円	16,000,000円	10,000,000円	6,200,000円	4,100,000円
付加賞	567,000円	162,000円	81,000円		



 レース映像は
コチラでご覧

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳54kg、4歳以上57kg、牝馬2kg減 2024.6.8以降G1競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3kg増
牝馬限定G1競走またはG2競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G2競走またはG3競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.6.7以前のG1競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G1競走またはG2競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増(ただしが2歳時の成績を除く)

2025.6.14 函館 曜·良 芝1200円 国際 特指

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コナー (通過順位)	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	④	カビリナ	牝 4	55	戸崎圭太	R1:06.6	6-6	33.4	474(+4)	6.2②	田島俊明(美浦)	106
2	①	ジューンブレア	牡 4	55	武 豊	ハナ	4-3	33.7	490(+6)	7.1③	武 英智(栗東)	105
3	⑤	ドンアミティエ	牡 5	57	丹内祐次	2	8-9	33.6	492(-4)	46.3⑩	今野貞一(栗東)	104
4	③	インビシブルババ	牡 4	57	横山武史	ハナ	1-1	34.5	514(-6)	23.8⑦	伊藤大士(美浦)	104
5	⑪	ペアボルックス	牡 4	57	松若風馬	クビ	4-3	34.0	482(+6)	16.3⑤	梅田智之(栗東)	
6	②	カルチャーデイ	牡 4	55	井酒 学	アマ	2-2	34.4	432(+2)	12.3④	四位洋文(栗東)	
7	⑩	ジョーメッドヴィン	牡 4	57	横山和生	%	13-11	33.2	518(-2)	94.3⑫	清水久詞(栗東)	
8	⑦	ナムラクレア	牡 6	57	C.ルメール	%	13-14	33.3	478(-2)	1.7①	長谷川浩太(栗東)	
9	⑯	メリノドーム	牝 6	55	佐々木大輔	クビ	10-9	33.6	488(+2)	31.5⑧	鹿戸雄一(美浦)	
10	⑬	ブルバレイ	驕 6	57	岩田康誠	クビ	12-11	33.5	490(-4)	234.2⑯	須貝尚介(栗東)	
11	⑥	ワイングレイテスト	牡 8	58	松岡正海	アマ	8-8	34.0	496(-20)	36.2⑨	畠山吉宏(美浦)	
12	⑯	シンニッヒ	牡 7	57	浜中 俊	ハナ	15-13	33.8	482(+6)	81.6①	池江泰寿(栗東)	
13	⑭	レイベリング	牡 5	57	吉田隼人	1	6-6	34.2	490(+4)	120.8⑭	鹿戸雄一(美浦)	
14	⑨	フィオライア	牝 4	55	小沢大仁	%	3-3	34.7	472(-2)	172.7⑮	西園正都(栗東)	
15	⑩	ステークホルダー	牡 5	57	藤間佑介	%	16-15	33.2	462(-2)	116.6⑩	斎藤 誠(美浦)	
中	⑧	ミアリップドラヴ	牝 3	52	池添謙一	10-		470(-)		16.4⑥	新谷功一(栗東)	

- ・戸崎圭太騎手は函館スプリントS初勝利。JRA重賞は本年5勝目、通算82勝目
 - ・田島俊明調教師は函館スプリントS初勝利。JRA重賞はレイハリアで制した21年キーンランドCに続く通算5勝目
 - ・ダンカーカ産駒がJRA重賞初勝利
 - ・4歳馬の勝利は23年キミワクイーンに続く通算10回目
 - ・勝ちタイム1:06.6は17年の本競走でジューヌエコールが記録した1:06.8を0秒2更新するコースレコード
 - ・ミリアップドラヴは競走中に疾病(急性心不全)を発症し、4コーナー手前で騎手が落馬したため競走中止
 - ・非当選馬 1頭(ケファシリ)
 - ・非抽選馬 1頭('ソインクリートーズ')

カピリナ *Ka Pilina*

牝 芦毛 2021.4.25生

北海道新ひだか町 谷岡牧場生産

馬主・株ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン 美浦・田島俊明厩舎

馬名意味・フラダンスの曲名。人ととの絆を意味する。姉レ
イハリアより連想

サイクラスUSA系 F13-c

ダンカークUSA Dunkirk 芦毛 2006	Unbridled's Song 芦毛 1993	Unbridled
		Trolley Song
	Secret Status 栗毛 1997	A.P.Indy
ライトリーチューン 鹿毛 2013		Private Status
マンハッタンカフェ 青鹿毛 1998	サンデーサイレンスUSA	
	サトルチェンジIRE	
リーインフォースト 鹿毛 1998	トニービンIRE	
	ティアラ	

5代までのインブリードなし

INTERVIEW

谷岡康成社長(谷岡牧場)

よく勝ってくれたと思います

いい枠を引いたので期待はしていましたが、よく勝ってくれたと思います。母ライトリーチューンの産駒は大人しい馬が多いのですが、カピリナも癖がなく素直な性格で、好馬体で脚元もきれいな馬でした。この後はスプリンターズSが大きな目標になります。今回レコードタイムで勝てたことで、速い時計の出やすい中山でもいい結果を残してくれると期待しています。



H.Kawai

ダンカーク産駒の本馬は2歳暮れのデビューからしばらくダートでキャリアを重ね、安定した成績を残したが、昨年7月、芝の短距離戦へ矛先を向けてのをきっかけに躍進。スプリント重賞を2勝したレイハリアの半妹にあたる血筋を開花させ、暮れに2、3勝クラス特別を連勝してオーフン入りを果たした。4歳を迎えた今年は重賞初挑戦のシルクロードS4着、続く愛知杯も3着と好走を重ね、この日はコース及びレースレコードを塗り替えて初の勲章を獲得。一戦ごとに力をつけてい

父ダンカークUSA

北米5戦2勝(ベルモントS G1 2着、フロリダダービーG1 2着)、10年から米、智、日で供用、24年用途変更

〔代表産駒〕レイトーン Leitone(エルグービー・智G1、チリ2000ギニーG1、チリセントレジャーG1 2着)、エルレイブリランテ El Rey Brillante(タンテオデボトリリヨス・智G1)、ハバナ Havana(シャンパンS・米G1)、カピリナ(本馬)、ダンキンベンド Dunkin Bend(サプリングS・米G3)、フェイヴアリット Favorite(ビニーナデルマール市賞・智G3)、アイスジャイアント(JB C 2歳優駿JnIII)、ダンツアトリス Danzatrice(アイオワディスタフ S・米L)、メイショウテンスイ(ジュライ S・L)

母ライトリーチューン

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央5戦0勝

レイハリア(18 牝父ロードカナロア)中央18戦4勝(キーンランドC GIII、葵S 〈重賞〉、雪うさぎ賞)

キモンヤマブキ(19 牝父パドトロワ)中央1戦0勝

リュウノマサムネ(20 牝父レッドファルクス)中央4戦0勝、地方14戦4勝

カピリナ 本馬(21 牝父ダンカークUSA)中央12戦5勝(函館スプリントS GIII、南総S、清津岬特別、愛知杯GIII 3着)獲得総賞金119,352,000円

レイロハ(22 牝父タワーオプロンドン)中央1戦0勝(23 牝父ドレフォンUSA)

(24 前年種付せず)

(25 牝父タイトルホルダー)

祖母リーフォースト

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央0勝。13年用途変更

カネトシツヨシオーラ(03 牝父タヤツヨシ)中央6勝(福島テレビオープンP、

ゴールデンホイップトロフィー、京橋特別、太宰府特別、京都金杯GIII 3着)

ピエネヴェーレ(04 牝父サクラバクシンオー)中央1勝

バウンシーチューン(08 牝父ステイゴールド)中央2勝(フローラS GII)、バ

ウンシーステップ(豊橋S、つわぶき賞)の母

ライトリーチューン(13 前出)

曾祖母ティアラ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央3勝(カーネーションC G1、牝馬東京タイムズ杯GIII 2着、ラジオたんぱ賞GIII 3着)、07年死亡

リーフォースト(98 前出)

大詰めを迎えた上半期のGIシリーズの一方、北海道では函館開催が開幕。今年はその初日に組まれた函館スプリントSに3年前の覇者ナムフクレアが参戦し、断然の実績を誇る6歳牝馬が圧倒的な支持を集めた。しかし8着に敗れた同馬を尻目に、熾烈な追い比べを繰り広げたのは、打倒候補の双璧”と目されていた2頭の4歳牝馬。このうち2番人気のカピリナが接戦に競り勝ち、重賞初制覇を果たした。

ダートで実績を積み上げてきたインビンシブルパパがキャリア初の芝C1400mで飛び出して先手を奪取。2、3勝クラス特別を連勝中の新星、3番人気

に支拂されたジューンブレアは4番手につけ、カピリナの戸崎圭太騎手はその後ろ、6番手のインで折り合いに専念する。一方、スタート直後に他馬と接触し、後方に控えたナムフクレアはレースの流れに乗れず、反撃の糸口をなかなか掴めなかつた。前半600mの通過が32秒5と水準以上に速いラップを刻んで逃げたインビンシブルパパは、直線に向くと好位勢を突き放して押し切りをはかつたが、残り200m地点を過ぎてさすがに失速。外へ持ち出して加速にかかるジユーンブレアと、内々を立ち回り、馬群を捌いて追い込んだカピリナが一気に逃げ馬を呑み込む。鼻面を並べてゴリに飛び込んだ両馬。約5.7秒という僅差で決着した接戦の重配はカピリナにあがつた。

ダンカーク産駒の本馬は2歳暮れのデビューからしばらくダートでキャリアを重ね、安定した成績を残したが、昨年7月、芝の短距離戦へ矛先を向けてのをきっかけに躍進。スプリント重賞を2勝したレイハリアの半妹にあたる血筋を開花させ、暮れに2、3勝クラス特別を連勝してオーフン入りを果たした。4歳を迎えた今年は重賞初挑戦のシルクロードS4着、続く愛知杯も3着と好走を重ね、この日はコース及びレースレコードを塗り替えて初の勲章を獲得。一戦ごとに力をつけてい

レコードタイムで初の勲章を獲得